

## 令和3年度地域とともにある学校セミナー 実施要項

### 1 目 的

学習指導要領の改訂にともない、「地域とともにある学校」や「社会に開かれた教育課程」に注目が集まっている。学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や地域学校協働活動は、それらを実現するための有効な手段として位置付けられている。教育課程の理念として掲げられた「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る責任ある人材の育成」に向けて、「学校と地域の新たな関係の構築」をどう図ればよいかを多面的に検討する。

本セミナーは、令和2年度開催のセミナーの成果と課題を踏まえ改善を加えている。学校と地域の連携を、例えば、国際比較の観点から、学習指導要領改定の観点から、カリキュラム・マネジメントの観点から意義づけを行うとともに、事例研究やシンポジウムでの意見交流を通して多角的に検討したい。オンラインによるセミナーではあるが、グループワークの時間も十分確保して、参加者相互の学び合いや情報共有の実現を目指す。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 受講期間 令和3年8月30日（月）～令和3年8月31日（火）  
※1日のみの参加も可能とする。

4 定 員 約120名

5 実施方法 Zoom ミーティングを利用した同時双方向通信によるオンラインセミナーを行う。

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

### 7 受講者

#### (1) 受講資格

- ①都道府県・指定都市・中核市教育委員会等の社会教育主事
- ②都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ③小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等
- ④教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

#### (2) 推薦手続

推薦期限は、令和3年8月5日(木)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員

会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

### （3）受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

（定員を大幅に超過する場合は、受講者数を調整する場合があります）

## 8 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとする。

## 9 事前課題

事前課題（資料準備を含む）がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

## 10 その他

（1）Web会議サービス「Zoom ミーティング」（（株）Zoom ビデオコミュニケーションズ）を用いて同時双方向通信を行う。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。

（2）Web会議への参加方法等の詳細については、受講者決定時に通知する。

## 日程表

## 地域とともにある学校セミナー

	8:50	9:10	9:20		11:00	11:50	12:10	13:10		15:00	16:00
8月30日	受付	挨拶・オリエンテーション(10分)	【講義・演習】(90分) 「社会に開かれた教育課程」とそこに込められた学力観 ～国内外の教育政策動向を踏まえて～	休憩(10分)	【演習】(50分) 「社会に開かれた教育課程」のねらいを確認する	【講義】(20分) まとめ ～「社会に開かれた教育課程」の意義～	昼食・休憩(60分)	【事例研究】(100分) 「地域とともにある学校」の事例研究 事例① 事例② 事例③	休憩(10分)	【演習】(60分) グループ・リフレクションとシェアリング	事務連絡

	9:00	9:10	9:20		11:00	12:10	13:10		15:00	16:00
8月31日	受付	事務連絡等(10分)	【講義】(90分) 地域との連携・協働による学びの活性化 ～地域とカリキュラムをつなぐ学校マネジメント～	休憩(10分)	【演習】(70分) サービスラーニングの手法を用いた授業の構想	昼食・休憩(60分)	【シンポジウム】(100分) 学校組織と教育実践の質を高める地域との連携・協働	休憩(10分)	【演習とまとめ】(40分) グループ・リフレクションと2日間のまとめ	事務連絡